

# 総合整備計画書

三ノ渡辺地

(辺地人口 274人、面積 15.7km<sup>2</sup>)

## 1. 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 中畑、大畑、葛黒、与助岱、三ノ渡、黒森、松沢、明利又
- (2) 地域の中心の位置 七日市字葛黒6
- (3) 辺地度数 242点

## 2. 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市道七日市～松沢線沿いの8集落109戸で構成される辺地である。  
 奥見内1号橋は、昭和55年に架けられた橋であるが、点検診断を実施したところ老朽化が著しく、主桁及び鋼部分全体に腐食が見られるなど安全上の問題がある。このため、これらの危険箇所の改修を行い、安全性を確保するとともに、森林整備の促進を図るものである。  
 当辺地内の橋梁は当地域と市街地を連絡するために欠くことの出来ないものであり、交通の安全を図るため、損傷状況を確認しながら計画的に補修を行い、長寿命化を図るものである。  
 当辺地は豪雪地帯であり、除雪機械は必要不可欠である。しかし、現在所有の機械は平成9年に購入したものであり、耐用年数が経過し老朽化による修理費も年々増加している。また、シーズン中に故障が発生した場合は作業に著しく支障をきたすことが想定される。このため、地域住民の安全かつ円滑な冬期交通を確保するため、除雪機械の更新を図るものである。  
 当辺地は消防署からの距離が遠いため、火災発生時等においては消防団がその役割を担っている。消防団は3つの地区に分かれており、それぞれに小型ポンプ車を配備しているが、操作人員の不足により、3地区それぞれでの対応が困難になりつつあり課題であったため、中心である松沢地区の消防団に小型ポンプ積載車を導入し、3地区を1か所に集約して確実な対応につなげるものである。また、現在の消防器具置場は昭和55年に建設されたものであり、老朽化が著しいことから、新たに建築するものである。  
 当辺地の水道施設は、昭和60年代に簡易水道事業で整備された施設であり、老朽化が著しく配送水管の経年劣化に伴う漏水等が多発し、水圧低下等により地域住民の生活に支障をきたしている。このため、必要な施設整備を行うことで、生活に欠くことのできない安全・安心な飲料水の安定供給を可能とするものである。

## 3. 公共的施設の整備計画(令和2年度から令和6年度まで5年間)

(単位:千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額	備考
			特定財源	一般財源		
林道	市	14,850	8,167	6,683	6,600	奥見内1号橋整備事業 L=15.6m、W=5.0m
橋梁	市	12,000	0	12,000	12,000	黒森1号橋補修事業
除雪機械	市	63,235	0	63,235	63,200	除雪グレーダ4.0m 1台
消防施設	市	11,600	0	11,600	11,600	・消防器具置場整備 一式 ・小型動力ポンプ付軽四輪駆動 消防自動車 1台
飲料水供給施設	市	37,683	0	37,683	18,800	・配送水管布設 L=500.5m